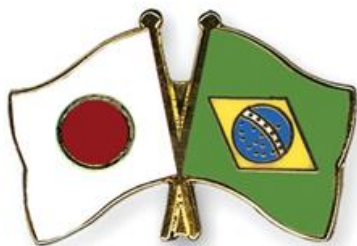




ブラジルへのさらなる投資実現 に向けた政策対話への取り組み

～2015 AGIR活動の報告～

ブラジル日本商工会議所
政策対話委員会



Progredir juntos!!

《2015年》

- 3月 AGIR 48項目を策定し、会員懇談会で報告
日本政府とAGIRを共有、官民連携体制を強化
- 5月 ブラジル産業界（CNI）へAGIRを説明、共通する問題意識を確認
日伯賢人会議においてAGIRを説明、両国経済人の認知を得る
- 6月 日商に活動状況を報告。カマラの体制強化とAGIRへの評価を得る
課税問題、労働問題についての近況調査を実施
- 8月 サンパウロ州収税局ICMS担当官との意見交換を実施
新レジスティクスプログラム（PIL2）所管省庁担当官との意見交換を実施
日伯経済合同委においてAGIRを説明、両国経済界の賛同を得る
- 9月 日伯貿投委でAGIR優先5項目を提言、MDICとの政策対話を合意
- 10月 ジェトロ視察団にAGIRを説明、中小企業らのブラジル進出を支援
- 11月 MDICとの政策対話がいよいよスタート（11月11日、於：ブラジリア）
- 12月 官民合同会議においてAGIR活動の進捗を報告

《AGIR48項目を策定し、会員懇談会で報告》



「課税」「通関」「労働」「産業競争力強化・中小企業育成」「インフラ」の5WGメンバー総勢70名が延べ100時間を掛けてAGIR48項目を策定

- ICMSクレジットの累積、代行納税制度の廃止
- 輸入ライセンスに係わる罰金非適用ルールの明確化
- 労使紛争の迅速な解決
- 部品メーカーへの税制優遇策等、中小企業支援施策の策定
- 海外投資家に対するインフラ投資環境の改善 etc



《日本政府とAG I Rを共有、官民連携体制を強化》



梅田大使、日本大使館担当官、経済産業省中南米室担当官らと協議を重ね、AG I R推進に向けた官民連携体制の強化を図った



《ブラジル産業界(CNI)へAGIRを説明、共通する問題意識を確認》

CNI 産業開発担当理事、国際部長らとの懇談を通じて多くの部分がブラジル産業界の問題意識と共通することを確認、今後協力して政策対話に取り組むことを約束



《日伯賢人会議においてAGIRを説明、両国経済人の認知を得る》

5月18日にリオで開催された第5回日伯戦略的経済パートナーシップ賢人会議において村田会頭がAGIRを説明、両国のハイレベル経済人から認知を得ると共に、本活動に関する情報や意見交換を継続し、進捗につき協議していくことが合意された。



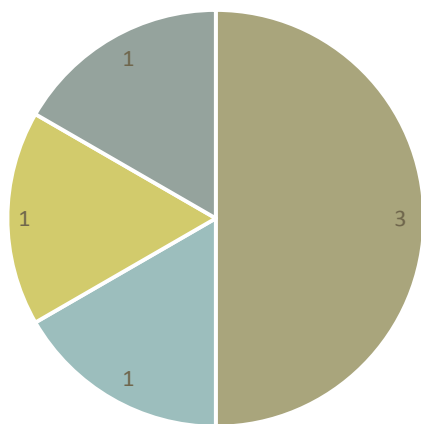
《日商に活動状況を報告。カマラの体制強化とAGIRへの評価を得る》

6月29日、30日の両日、日本商工会議所（東京丸の内）において、本補助事業に取り組む4カ国（ブラジル、中国、インド、メキシコ）の担当者が一同に会し、活動報告と現状の課題等について意見交換を実施、各国の取り組み事例の収集を図った。特に、カマラが半年間のうちに成し遂げた政策提言体制の強化と5WGによるAGIRの策定に、日商並びに各国担当者から高い評価を得た。



《課税問題、労働問題についての近況調査を実施》

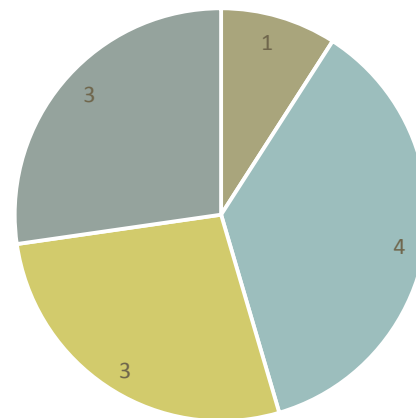
ICMSクレジットの蓄積額？



- 7) 1～3ヵ月分
- 4) 3～6ヵ月分
- 5) 6～12ヵ月分
- 6) 1年分以上

AGIRの信頼性の維持を目的に、進出日系企業の多くが直面する課税、労働問題について会員企業を対象に近況調査を実施、今なお問題となっているものについてはその具体事案を示しながら当該項目の改善を働きかけることに努めている。

就労許可取得までの期間？



- 1) 1週間以内
- 2) 1～2週間
- 3) 2週間～1ヵ月
- 4) 1ヵ月以上

《サンパウロ州収税局ICMS担当官との意見交換を実施》

ー聖州 I CMSクレジット移転制度についての説明会ー

課税WGでは、会員企業の多くが I CMS クレジットの累積を抱え、各社のキャッシュフローを悪化させる一因となっていることを受け、サンパウロ州の I CMS クレジット移転制度についての会員企業向け説明会を開催、定員の2倍を超える200名が参加。当日は、収税局担当官から同制度の利用方法を聴取すると共に、より簡便な制度への移行と I CMS 制度そのものの改善を強く訴えた。



《新ロジスティクスプログラム(PIL2) 所管省庁担当官との意見交換を実施》

ーカマラ・ジャパン・インフラサミット2015ー



インフラWGでは、空港、港湾、鉄道、道路の4分野に渡る新たなインフラ整備計画（PIL2）に多くの会員企業が関心を寄せていることを受け、所管省庁担当官を講師に迎え説明会を開催、商社、物流、金融機関はじめ150社が参加。当日は、各担当官とのパネルセッションも設け、本計画を魅力あるビジネス機会とするための政策的な課題等について意見交換を行なった。

《日伯経済合同委においてAGIRを説明、両国経済界から賛同を得る》

8月31日、9月1日の両日、ポルトアレグレで開催された第18回日伯経済合同委員会において、松永委員長がAGIR活動および優先提言5項目の内容を説明、本活動を通じて日本企業によるブラジルへのさらなる投資実現と日伯間の新たなビジネス機会の拡大を図りたいと力強く表明した。両国経済界から賛同を得ると共に、日伯官民による未来志向の政策対話に向けた積極的な活動推進への期待が寄せられた。





《AGIR優先提言5項目》

大項目	中項目	小項目
裾野産業育成・中小企業 進出促進に向けた提言	ブラジルサプライヤーの競争力強化を 図る産業施策の策定	1. 部品メーカーへの税制優遇策等、中小企 業支援施策の策定
	自動車業界における裾野産業の振興	2. より高いマネジメントスキルを持ったエ ンジニアの養成
		3. 利便性のある経済特区、輸出促進特区の 設置と効果的な運用 ー人材育成の促進ー
インフラ整備の促進に向け た提言	インフラ整備を促進する金融制度改革	4. 海外投資家に対するインフラ投資環境の 改善ー外貨導入によるインフラ整備の促進ー
	投資促進のための重要インフラの整備	5. 電力の効率的利用によるエネルギーコス トの削減ー効率的な電力使用環境の構築に向 けたスマートグリッド導入ー

《日伯貿投委でA G I R優先5項目を提言、MD I Cとの政策対話を合意》

9月3日、ブラジリアの開発商工省庁舎で開催された第9回日伯貿易投資促進・産業協力合同委員会において、村田会頭がA G I R優先5項目を提言、伯政府の賛同を得て、各項目について日伯官民による政策対話をスタートすることが合意された。



貿投委では、藤田メディカル分科会長から医療分野における規制の改善状況、近藤自動車部会長からブラジル自動車産業の現状と投資機会の拡大に向けた政策課題についても説明がなされた。



《ジェットロ視察団にAGIRを説明、中小企業らのブラジル進出を支援》

10月19日、ジェットロが主催する自動車部品ミッション団18社がカマラを訪問、平田事務局長からブラジルの政治経済情勢やマーケットのポテンシャル、ビジネス機会の大きさ等について説明を行い、ブラジルへの積極的な事業展開を働きかけた。天谷アドバイザーからはAGIR活動の進捗と税制、労働分野における特徴的な課題を紹介、ブラジルコストという高い壁がある一方、それを乗り越えれば大きなビジネスチャンスチャンスの獲得も可能である旨説明し、自動車業界における潜在的なビジネス機会の大きさをアピールした。同ミッション団は翌日、在ブラジル自動車メーカー各社との商談会に臨み、欧米を含む各メーカーから予想以上の引き合いを得た。



《開発商工省（MDIC）との政策対話がいよいよスタート》

11月11日、政策対話委員会は開発商工省（MDIC）の局長らとAGIR優先5項目への取り組み方法について意見交換を行った。カマラがこれまで要望してきた日伯政策対話がいよいよスタートした。カマラからは松永委員長、平田事務局長らが出席、MDICからは、タイス経済特区局長、マリア貿易アナリスト、カルロス産業開発庁スマートグリッド担当官、マルシオ自動車産業担当官ら10人が出席、日本大使館から下司二等書記官（経済産業省）に同席いただいた。MDICからは、本対話を通して日本側から種々インプットを得て、今後の施策に生かしていきたいと、今後の政策対話活動への期待が示された。

次回対話を来月21日に予定、日本国における中小企業支援施策を紹介すると共に、日系自動車メーカーから、ブラジルサプライヤーの競争力強化に向けた各種助言を行なうことにしている。



貿投委で、政策対話への取り組みを合意したカルロス局長（左）と赤石審議官



貿投委で、AGIR活動の意義、重要性を確認し合うカルロス生産開発局長（左）と赤石通商政策局審議官